



◆令和2年も残りわずかとなりました。新型コロナウイルスに翻弄されたまま年を越します。感染はいつこうに治まらず、納射会などの恒例行事は残念ながら中止となりました。そんな中、審査合格の嬉しいニュースもありました。◆ふっさのゆみ、今年は少ない号数でしたが、ご愛読ありがとうございました。来年が皆さまにとって良い年となりますようお祈りします。

【11月の行事報告】

- 11月8日(日) 第4回月例会 結果

優勝	藤原(真)・池田・井上	39中弦・足袋
2位	鳥羽・林・藤原(有)	30中
3位	椎名・横須賀・遠藤(智)	29中
4位	渥美・(横須賀)・(林)	24中
5位	平戸・片岡・土屋	23中
個人賞	1位藤原(真) 17中	2位鳥羽 13中
	3位藤原(有) 13中	

- 11月15日(日) 第三地区第1回審査会
(四段、中央道場)
横須賀さんが見事四段に合格です。おめでとうございます！

- 11月22日(日) 第三地区第1回審査
ビデオ撮影(無指定～式段)
地区審査で無指定～式段はビデオ審査となり、福生分の撮影が行われました。次回もこの形式となる予定です。会場まで出向く必要がなく、引き慣れた道場で受けられる利点も考えられます。この形式の利点を生かしたいものです。

- 11月29日(日) 第三地区支部団体戦(通信制)
この時期恒例の団体戦も今年は通信制となりました。チーム5人の団体戦。同じく通信制となった支部対抗戦で3人と2人に立を分けた結果、チーム感が湧きにくい上、前立の結果に影響される難点もあり、今回は道場始まって以来(?)の五人立ちとなりました。



<安土の5つの>



<五人立ちでの
競技風景>

メンバーは万場さん、小倉さん、細谷さん、森さん、平戸さん。男子は前日の予選会を経ての出場です。立射で行われ、前後を気にしながらも五人立の流れで射を行うことができました。

結果は1立目8中、2立ち目11中の合計19中で福生の実力発揮とは行かず、入賞は成りませんでした。このような形式の試合に早く慣れ、福生の実力が発揮できるようになりたいものです。選手及びサポートの皆さん、お疲れ様でした。



<支部団体戦 選手とサポートの皆さん>

【コロナ禍審査役員報告】

- 新型コロナウイルスの感染下、審査もあらゆる対策をとりながら再開されました。早速11月8日、14日の東京都連合審査、第三地区審査に役員派遣があり、平戸さん、万場さん、三浦さん、森さん、山口が行って来ました。密を防ぐ入退館時間の指定、射場控えでは背中合わせで着席、マスク袋の準備、替弦の自己管理等々、細心の配慮がなされました。招集役員には、立毎に流れや注意事項を説明する仕事が増えました。いつもと違う流れも全員の協力が進め、一日無事終了することができました。受審者が口々に感謝の言葉を述べながら退館され、安ど感が湧きました。どちらの側になっても、協力と感謝の念をもって参加したいものです。役員も受審された皆さんもお疲れ様でした。

【今後の主な行事予定】

- (必ず個別の開催要項をご確認ください。)
- 12月13日(日) 福生月例会(第5回)
 - 12月20日(日) 東京都支部対抗予選(通信制)
 - 12月26日(土) 第1回審査会(参段、中央)
 - 1月10日(日) 福生月例会(第6回)
 - 1月16日(土) 第三地区新年射会(中央道場)
 - 1月17日(日) 第三地区選手権大会(3部、中央)
 - 1月23日(土) " (2部、中央)
 - 1月24日(日) 東京都支部対抗弓道大会
決勝大会(都武道館)
第三地区選手権大会(1部、中央)
 - 1月30日(土)、2月7日(日)
第2回審査会(四段、中央・至誠館)